

月刊

建材

ナビ

特集：IoT化した電動窓シャッターを中心に
高機能タイプの拡大をめざす
住宅用窓シャッター市場

商品群

〈窓・ドア／エクステリア〉

〈医療・商業施設・ビル用〉

2月号
No.243

【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

INAXブランド内装機能建材「エコカラット」発売 20周年を機に、デザイン・価格を据置き、清掃性に優れた「エコカラットプラス」に統合



LIXILは、INAXブランドの内装機能建材「エコカラット」シリーズ発売 20周年を機に、3月1日から全シリーズを清掃性に優れた「エコカラットプラス」(粒子の細かい湿気は通し、粒子の大きな水や汚れを通しにくい構造が特長)に統合・発売する。

従来の「エコカラット」は、同デザイン・価格を据え置いたまま「エコカラットプラス」として発売、従来の「エコカラットプラス」は機能やデザインをそのままに「エコカラット」の価格帯に合わせて改定する。

今回の商品統合により「エコカラットプラス」は、34商品に拡充する。とくに人気商品の最新技術を使った高精細加飾品に新柄「ネオトラバーチン」を追加する。価格帯別には、1万2900円/㎡に16商品、8600円/㎡に11商品、5800円/㎡に7商品をラインアップする。

アジア最先端の研究開発拠点(2500㎡)を中国・上海市に新設

LIXILグループのアジア事業を統括するLIXIL Asia Pacificは1月17日、中国・上海市のビジネスパークに新たなアジアの研究開発拠点の中心となる施設を新設、開設式典を行なった。

新設された2500㎡の施設は、日本、北米、ドイツにつづく4番目のR&Dセンター。アジア向けの技術拠点として、同社がアジアで展開する全ての水回りブランドの事業を網羅する。施設には、ショールーム、研究設備、エクスペリエンスセンターがある。American Standard、DXV、INAX、GROHE および LIXIL を含む LIXIL グループがアジアで展開する水回りブランドの最新のイノベーションが集結されている。

TOSTEMブランドの窓「LW」、
「日経優秀製品サービス賞」
優秀賞日経産業新聞賞



LIXILは、「2018年日経優秀製品・サービス賞」において、2018年8月発売のTOSTEMブランドの新しい窓「LW」が「優秀賞日経産業新聞賞」を受賞した。

TOSTEMブランド「LW」は、上下左右のフレームが室内から見えないフレームインデザインでガラス戸を横スライドさせる開閉方式。外側のアウトターセット(オプション)が開閉部にスライドし目隠しや日差しを遮る機能を持ち、一般的な窓と異なり景色を遮る

ものがまったくないノイズレス構造で、心地よいリビング空間を創り出すことが可能な点が特長。性能面でもアルミ樹脂のハイブリッド構造で熱貫流率は1.00w/㎡・K。

「ジャパン SDGs アワード」のSDGs 推進副
本部長(外務大臣)賞受賞

LIXILは、第2回「ジャパン SDGs アワード」で、SDGs 推進副本部長(外務大臣)賞を受賞した。



今回の受賞は、革新的で低価格な開発途上国向け簡易トイレシステム「SATO」製品の開発、現地に根ざしたソーシャルビジネスをコンセプトに現地での生産・販売体制の構築・雇用促進、インフラ整備・衛生意識改革のために国際機関やNGOとの協働でおこなってきたアドボカシー活動と、トイレ一台購入につき、「SATO」を一台寄付する「みんなにトイレをプロジェクト」などのビジネスを通じた課題解決に貢献している点などが評価されたもの。

三協アルミ

「カーポートグランプリ」の第1位に「U.ス タイルII」選出される

三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、「第2回車庫No.1を決める!カーポートグランプリ」の結果を発表した。

建材 navi 2月号-No.243 目次

特集 IoT化した電動窓シャッターを中心に高機能タイプの拡大をめざす住宅用窓シャッター市場 6

特集 2019年期待の環境・リフォーム商品群
＜窓・ドア/エクステリア＞ 11
＜医療・商業施設・ビル用＞ 14

【環境・健康建材コーナー】 3

【新製品・新技術情報/業界の動き】 17


© Miruto Shuppankai Ltd.2019 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を2019年 <input type="text"/> 号(月号)より1年間購読します。 (年間購読料/送料・税込30,000円)				
貴社名		部署	ご芳名	印
送付先				
			FAX	



昨年9月から12月のキャンペーン期間中の投票総数は13万8560票で、全8種類のカーポートの内、第1位は「U.スタイルII」(5万1145票)、第2位「M.シェード」(3万3513票)、第3位「アトラード」(1万8141票)がカーポートベスト3に選出された。いずれも両側支持式のスタイリッシュなデザインと高強度を兼ね備えていることが特長。

昭和フロント

「ストアフロントコンクール」作品募集中、締め切り2月28日

昭和フロント(笹澤英夫社長)は、「第50回ストアフロントコンクール」の作品を募集中。締め切りは2月28日(木)。

昨年2月20日から今年2月28日までに引き渡し完了、申し度は完了予定の昭和ストアフロント製品を採用した作品が対象。募集は、第1部店舗建築・第2部一般建築・第3部アイデアの3部門。第1部・2部の両部門からグランプリをはじめ、金賞・銀賞・銅賞、第3部の優秀賞・優良賞を選出する。

TOTO/DAIKEN/YKKAP

「わたしの十人十家」入賞10作品を決定

TOTO/DAIKEN/YK



KAP3社共同主催のRoomClip写真投稿キャンペーン「わたしの十人十家」入賞10作品を決定、発表した。

「十人十家賞」受賞者は「a_tankoさん」。審査員講評:「グリーンのある暮らしをテーマとした吹き抜けの空間に、北欧を意識したシンプルなインテリアと美しい植物がマッチしており、大開口からの光が空間の魅力を引き立てています。青いソファがアクセントになり、美しいカラーコーディネートを実現しています(窓:YKKAP商品)。そのほかに「TOTO賞」、「DAIKEN賞」、「YKKAP賞」がそれぞれ3作品ずつ表彰された。

ニチハ

グランプリ住宅部門:(株)小松隼人建築設計事務所/同非住宅部門:(有)井上建築事務所

ニチハ(山中龍夫社長)は、「NICHIIHA SIDING AWARD 2018」で、応募総数457作品の中から住宅部門、非住宅部門のグランプリなど入賞23作品を決定した。審査委員長の難波和彦氏、審査員の飯島直樹氏が審査。



グランプリ住宅部門は、作品「道後南の家」(愛媛県)/「(株)小松隼人建築設計事務所」が受賞した。審査員評:「サイディングによるデザインの可能性をおおきく広げる作品として評価したい。横ストライプの水切りとの明快な構成によって、サイディング部材の目地は魅力的な見方に引き寄せられ、所在無げになりがちなポツ窓や開口部位も、在るべくしてそこに収まる。部分と全体が巧みに統合される、凛とした建築である」。



グランプリ非住宅部門は、作品「奥八女別邸やべのもり」(福岡県)/「(有)井上建築事務所」が受賞した。審査員評:「福岡県八女市の地域振興施設で、地に足のついた好感の持てる施設デザインである。滞在型観光の離れ宿であり、7棟の平面プランはどれも泊まってみたくなる密度の高さで、レイアウトの間合いが好ましい。山間に入り込むような寄棟と質実なチャコールの外壁によって、分棟間の相互の親密な気配が感じられる」。

塗膜の変色・褪色30年保証の新商品「無垢板型枠RCウォール16プレミアム」発売

ニチハは、塗膜の変色・褪色30年保証に対応するプレミアムシリーズの新商品「無垢板型枠RCウォール16プレミアム」を1月新発売する。

「無垢板型枠RCウォール16プレミアム」は、モエンサイディングW14(14mm厚品)の人気柄で、コンクリート打ちっ放しに木目の質感を転写させた独特の意匠。高級感と素朴さが融合した人工的なモチーフが生み出すやわらかな温もりが魅力。

モエンエクセラード16「グランスペック60プレミアム」のポイントである、超高耐候塗料「プラチナコート30」仕様で、ニチハ独自の高耐久素材「プラチナシール」との併用で、窯業サイディング業界初の「塗膜の変色・褪色30年保証」に対応するもの。外壁1時間耐火構造・1時間準耐火構造での使用可能。

サイズ:16×455×3030mm(10尺)、カラー:MGグレー30、価格(税抜き):7700円/枚(5585円/㎡)。

積水ホームテクノ

グッドデザイン賞受賞した戸建住宅向けユニットバス新シリーズの受注を開始

積水化学工業の100%子会社・積水ホームテクノ(福井一晃社長)は11月6日、グッドデザイン賞受賞の戸建住宅向けユニットバス「Bath Saloon Escort」新シリーズの受注を開始した。

特長は、①業界最高水準の床断熱性能を実現し、ヒートショック軽減に寄与。②曲線基調の「S-Line」シリーズで1坪・0.75坪の洗い場広さ業界最高水準の1000mmを実現。③同シリーズ浴槽は節水(深さ70%で177ℓ)しながら快適な入浴感を実現—など安全・使いやすさ・環境への配慮にこだわった設計。

三協アルミ

「平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の「ダイナミックインシュレーションを用いた窓システム(DI窓)」、外窓アルミ・内窓樹脂二重窓スタイルで断熱1地域に採用できるU値1.2~0.4実現

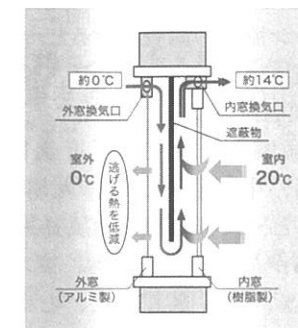
三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、NEDO助成事業で研究開発した「ダイナミックインシュレーションを用いた窓システム(DI窓)」を、東京ビックサイトで開催された「ENEX 2019 第43回地球環境とエネルギーの調和展」に出展、セミナーで省エネ効果が紹介された。

「DI窓」は、「平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞した新たな理論に基づく超高断熱窓システム。

それは換気口付き・中空層12mm・Low-E複層ガラス仕様の「アルミ製外窓」と、中空層12mm・Low-E複層ガラス仕様の「樹脂製内窓」との間に、「断熱ブラインド」または「整流板」を設置する窓構造。その仕組みは、住宅の24時間換気が稼働すると、窓の中間層に気流が生まれ、その空気の流れにより通常は窓から逃げる熱を回収することで、窓の断熱性能を飛躍的に向上させるもの。

DI窓(引違い窓)24時間換気使用時における断熱性能は、断熱ブラインド仕様でU値0.9~0.4、整流板仕様でU値1.2~0.6を実現する。さらに「DI窓」断熱ブラインド仕様で熱貫流率0.2と、断熱材200mm厚に相当する試験データも得ている。

Low-Eトリプルガラス仕様を



上まわる高断熱性能を、外窓アルミサッシ・内窓樹脂の二重窓構造で実現している点が、最大のセールスポイント。「DI窓」(引違い窓)は、北海道・北東北の寒冷地向けの二重窓スタイルとして採用も可能になる。

また、換気口から外気を入れても寒くない、窓での換気により結露を低減、自然給気口が不要になり住宅美観のアップ、「DI窓」に変えるだけで外皮性能を1ランクアップ、さらに住宅性能に関わらず暖房冷房負荷を大きく削減など、様々な効果が実証されている。

三協アルミ社は、ショールームにDI窓システムの体感コーナーを設置し、その仕組みやメリットを周知すると共に、更なるコストダウンを図って商品化を進めている。

今後のテーマとして、DI窓システムの高断熱性能を活かした「大開口サッシ」の実現、またオフィスビル向けDI窓システムの検討を行なっていく。

IoT化した電動窓シャッターを中心に高機能タイプの拡大をめざす住宅用窓シャッター市場

窓シャッター・雨戸の全国取付率 戸数比 59.8%、窓数比 11.8%、 近畿・関東・中部・九州を軸に販売

窓シャッター・横引雨戸は、都市部の防犯対策、台風通過地域の防災対策として使われてきた。日本サッシ協会の調査によると、窓シャッター・雨戸の全国取付率は戸数比 59.8%、窓数比 11.8%と減少傾向がづついている。

地域圏別にみても、近畿圏 87.9%、関東圏 81.4%、中部圏 69.8%、九州圏 65.7%、四国圏 31.5%と、大都市部や台風通過地域では採用されているが、中国圏 15.0%、東北圏 3.6%、北海道圏 1.6%、北陸圏 1.1%と、とくに積雪地域ではほとんど取り付けられていない。

窓シャッターと横引雨戸比較すると、窓シャッター取付率が 96.6%と圧倒的に多い。窓数比でもほとんどのメーカーが9割を超えている。

こうした中で、三協立山、三和シャッター工業、文化シャッター、LIXIL、YKKAPは、窓シャッターの防犯対策や防災対策につづく、新機能開発を通じて地域性の払拭に取り組んでいる。

いまもスチール製窓シャッターの手動スクリーンタイプが大半を占める。これにつづく高機能・高付加価値商品として、スチール製電動シャッター、アルミ電動シャッター・スリットタイプ、さらにアルミ電動ブラインドシャッターが市場投入されているが、高コストを理由に採用は遅々として進まない。

窓シャッターに求められる機能が、これまで通りの防犯や防火、強風対策に止まる限り、低コストのスチール製窓シャッターに取って代わることは難しい。近年の大型台風による被害を受け、スチール製窓シャッターへの関心が高まっているが、高機能タイプの採用とはなっていない。

窓シャッターの高付加価値商品は、スチール電動タイプ、アルミ電動スリットタイプ、アルミ電動ブラインドタイプ。これらの電動タイプは、窓シャッターの販売全体の 15.6%を占める。メーカー別には、三和シャッター工業、LIXIL、YKKAPが6万～5万台を販売する。販売全体に占めるに電動化率は、文化シャッター 27%、三和シャッター工業 25%と3割に迫っている。

新たな動きは、文化シャッターが先行した外出先からスマートフォンで操作できる、IoT化した電動窓シャッターの開発にみえる。どのような形でクラウド連携するかは各社によって違いはあるが、スマートフォンから窓シャッターをコントロールすることで、防犯・防災対策、さらには省エネ対策に効果が見込める。各社ともこうしたIoT化した電動窓シャッターによる新たな窓シャッター需要の掘り起こしを本格化させている。

* * *

一方、横引雨戸は、2017年度 51万3700枚と前年比約 15%減少した。この減少傾向は止まらないが、リフォーム比率は窓シャッターよりも多いことが特徴。横引雨戸→窓シャッターのリフォーム商品の投入など、窓シャッターの採用を広げる動きもある。2017年度「横引雨戸パネル」の各社別販売数は、LIXIL約30万枚、YKKAP約12万枚、三協立山約7万5000枚、三和シャッター工業約14600枚、文化シャッター約4100枚と推定される。

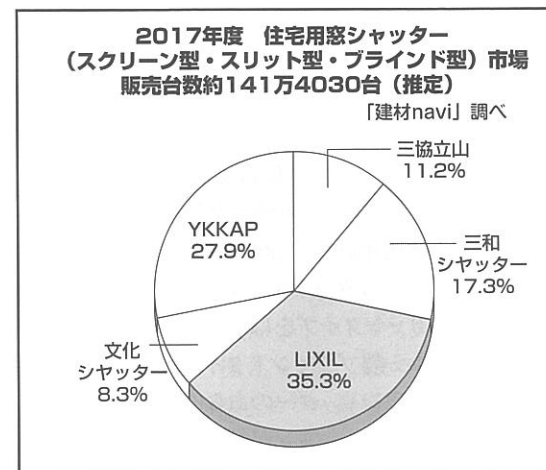
2017年度住宅用窓シャッター販売 台数(5社)約141万4030台と減少 電動タイプ15.6%と拡大傾向つづく

2017年度住宅用窓シャッター販売台数(5社)は、約141万4030台と推定される。内訳は、スクリーン型(LIXILのスリット型・ブラインド型融合のエアリス含む)約140万5000台、スリット型(4社)約7600台、ブラインド型(3社)約1430台と、スクリーン型とスリット型は前年比減少、ブラインド型が微増であった。

窓シャッター電動タイプの販売台数は、5社計 22万0400台と推定される。メーカー別には、三和シャッター工業約6万台超、LIXIL約6万台、YKKAP約5万台超、文化シャッター約3万台超、三協立山約2万台弱と推定される。販売全体に占める割合は、文化シャッター、三和シャッター工業が20%台、三協立山、LIXIL、YKKAPは10%台で推移している。

* * *

スクリーン型・スリット型・ブラインド型を含めたメーカー別の窓シャッターの販売台数をみていく。



LIXILは約50万台、シェア 35.3%と推定される。鋼板窓シャッター「イタリヤ」、耐風アルミシャッター「クワトロ」、スリット型・ブラインド型融合のアルミ製「エアリスマルチ電動」を展開する。また、新築用と共通構造の戸建住宅用「リフォームシャッター」の発売にとともにリフォーム向け窓シャッター比率が13%と業界で唯一2ケタ台に乗せている。

YKKAPは約39万4400台、シェア 27.9%と推定される。スクリーン型 39万台、スリット型・ブラインド型 4400台と、最上位機種から普及タイプまで取り扱っている。昨年9月には、様ざまな納まりに対応できる後付タイプ「かんたんマドリモシャッター」を発売し、リフォーム需要の掘り起こしを本格化させている。

三和シャッター工業は約24万4800台、シェア 17.3%と推定される。スクリーン型 24万3000台、スリット型・ブラインド型 1800台の内訳。スチール製窓シャッターを主力商品に、あらゆるタイプの窓シャッターを品揃えする。窓・サッシメーカーの一体枠シャッターに押され気味とはいえ、電動タイプの販売では専門メーカーらしく業界をリードする。

三協立山は約15万8000台、シェア 11.2%と推定される。スクリーン型 15万7000台、スリット型 1000台の内訳。また、窓シャッターと横引雨戸は8対2と横引雨戸の比率が比較的高い。横引雨戸のリフォーム比率も14%を占める。一体枠タイプ 95%・後付タイプ 5%の販売比率。

文化シャッターは約11万6830台、シェア 8.3%と推定される。スクリーン型 11万5000台、スリッ

ト型・ブラインド型 1830台の内訳。窓シャッターの高付加価値化では業界をリードしている。電動タイプの販売比率も30%に迫っている。とくにIoT化した電動窓シャッターの開発は、窓シャッターの新たな需要を掘り起こすと期待される。

三協立山

サッシ一体枠タイプ「メルフィーナ」スチール手動タイプを主力に展開、電動タイプ販売比率10%

【商品構成】■住宅用窓シャッターのバリエーション—◇スクリーン型:「メルフィーナ」(スチール手動タイプ・電動タイプ。電動タイプは、標準タイプ・リモコン対応タイプ・タイマー機能付タイプ)。◇スリット型:「メルフィーナ」(アルミ電動タイプ。お好み・採光機能付きリモコン対応タイプを用意。シャッターを閉めた状態でスイッチ操作とリモコン操作による採光・通風が可能)。

◇シャッター付引違い窓「ラクフィーナ」(操作棒を回すだけで開閉可能な簡易電動タイプ。低電磁手動開閉機構付きタイプも用意)。◇「シャッター付引違い窓」(マディオシリーズ、アルジオシリーズ等)。◇リフォーム用単体シャッター(壁付仕様の引違い窓用・装飾窓用・出入口用等)。

■住宅用雨戸—◇スチール製雨戸パネル(横波タイプ・断熱たてりタイプ) /アルミ製取替用採風雨戸パネル「エアフリー」(雨戸を閉めた状態で採風・通風が可能)。

【最近の動き】サッシ一体枠タイプ「メルフィーナ」スチール手動タイプを主力商品に増加する窓シャッターの需要に対応する。窓シャッターと横引雨戸の販売比率(窓数比)は80%対20%と変わらない。

窓シャッターは、新築住宅向けのシャッター一体枠タイプが販売全体の95%を占める。一方、横引雨戸のリフォーム需要が約15%程度あり、横引雨戸→窓シャッターへの転換がまだ少ない。

窓シャッターも横引雨戸も、台風や飛来物から窓を守るため、防犯のために採用されていることに大きな違いはない。

窓シャッターの1棟あたりの平均的採用数は、リビングを中心に2セット程度と推定する。窓まわりの利便性・機能性を高める電動タイプは、販売全



三協立山・サッシ本体・窓シャッター「メッシュスクリーン」を軸に展開

体の10%と、市場の大半を依然として低価格なスチール手動タイプが占めている。

三和シャッター工業

IoTやAI技術を活用しセキュリティ・利便性を高めた窓シャッター「マドモアHEMS仕様」拡大

【商品構成】■窓シャッター「マドモアHEMS仕様」——◇パナソニックの「スマートHEMS」と連携、窓シャッターの一括管理・操作が可能。シャッター専用の操作スイッチだけでなく、「スマートHEMS」専用のモニターや外出先のスマートフォン・タブレット端末から窓シャッター開閉状況の確認・操作ができるために、セキュリティの向上、急な天候の変化に対応が可能。また閉鎖操作における挟まれ・締め出し防止として、操作画面に注意喚起の表示、閉鎖予告ブザー 20 秒間鳴動の設定などの安全対策が講じられている。さらに、スマートスピーカーと連携し、音声による開閉操作も可能。◇対応商品:「マドモアスクリーンS」「窓モアスクリーンG II」「マドモアスリットW」「マドモアブラインド電動タイプ」。

■「マドモア」バリエーション——◇アルミ型材製外付ブラインド「マドモアブラインド」(電動タイプ・手動タイプ)。◇ウレタン充填アルミ製「マドモアスリットS」(スリムなコンパクトタイプ) / 「マドモアスリットW」(単窓4m・連窓6m、中柱固定で8mまで対応)。

◇スチール製「マドモアスクリーンS」(防火仕様・メッシュスクリーン内蔵仕様・ソーラータイプ・アルミ型材採用換気タイプ) / 「マドモアスクリーンG II」(新築・リフォーム対応。サッシ枠最大出寸法 42 m mまで対応。防火仕様・換気仕様)。

◇リフォーム対応商品「マドモアプラス」(既設雨

戸をそのままに窓シャッターを取り付けられる戸袋付雨戸改修用電動シャッター。スクリーンタイプ・換気タイプ・通風採光タイプ)。◇「マドモアチェンジ」(手動タイプの窓シャッターの本体部分をそのままにリモコン操作の電動タイプに替えられるシステム)。

【最近の動き】 スチール製「マドモアスクリーン」を主力商品に横引雨戸から窓シャッターへの転換を推進する。窓シャッター「マドモア」シリーズは、スチール製スクリーンタイプをはじめ、アルミ製スリットタイプ、アルミ製ブラインドタイプ、リフォーム対応タイプなど、窓シャッターのあらゆるニーズに対応できる豊富なバリエーションが特長。最近のIoTやAI技術を活用した電動窓シャッター「マドモアHEMS仕様」の充実を図っている。

販売傾向をみると、昨年の台風や強風被害で、その効果が再認識され、新築・リフォームでの採用が増えているとの見方。1棟あたりの取付数は3台～4台と推定。スクリーンタイプやスリットタイプ、ブラインドタイプの電動タイプは、約25%と増加傾向にある。

電動タイプは、サッシを開け閉めすることなく窓シャッターの操作ができ、断熱効果を損なうことがない利点がある。台風対策、防犯対策に加えて省エネ対策にも効果があることを強調する。さらに、HEMS対応商品の充実を通じて、電動窓シャッターの拡大に取り組んでいる。

文化シャッター

HEMSと連動、外出先からスマホ操作できる電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」拡販

【商品構成】■「スマートタイプ」/ワイヤレス集中制御システム「セレクト」(スマートフォンで窓シャッターをコントロールできる通信システム。外出先から操作可能なHEMSと連携)——◇HEMS対応メーカー:パナソニック「スマートHEMS」(2015年)、三菱電機「三菱HEMS」(2016年)、NTT東日本「フレッツ・ミルエネ」(2016年)、シャープ「クラウド連携エネルギーコントローラ」(2017年)。◇設定機種例——シャープ製HEMS連携「マドマスター・スマートタイプ」:「マドマスタータップ」「マドマスタータップ2」「マドマスターリード」「マドマス

ターワイド」、雨戸後付電動窓シャッターリフォーム「ヨコタテ」「カルーチェ4」、後付電動キット「オートマンミニ2」、外付ブラインドタイプ「プリユBモデル」。

■商品群——◇「マドマスタータップ」(後付):「換気・採光モデル」(カラーアルミ板製) / 「パンチングモデル」(カラー鋼板製・アルミ型材製) / 「スタンダードモデル」(カラー鋼板製) / 「防火設備仕様」(カラー鋼板製)。◇「マドマスターリード」(先付・後付):換気・採光モデル」(カラーアルミ板製) / 「パンチングモデル」(カラー鋼板製・アルミ型材製) / 「スタンダードモデル」(カラー鋼板製)。◇「マドマスターワイド」(先付・後付):「換気・採光モデル」(カラーアルミ板製)。◇「マドマスターALC・RCリード」(先付):「換気・採光モデル」(カラーアルミ板製) / 「スタンダードモデル」(カラー鋼板製)。◇「マドマスタールーマ」(屋内用・後付):「ハイグレードモデル」(アルミ型材製) / 「スタンダードモデル」(カラー鋼板製)。◇外付ブラインドタイプ「プリユBモデル」(オイルス ECO 社より技術供与。アルミ型材製)。◇リフォーム対応機種:雨戸後付電動窓シャッターリフォーム「ヨコタテ」「カルーチェ4」、後付電動キット「オートマンミニ2」など、豊富なバリエーション。

【最近の動き】 スマートフォンで外出先から窓シャッターの操作ができる電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」の対応機種を拡大を通じて、住宅用窓シャッターの高機能化・高付加価値化を進めるリーディング企業。昨年12月18日からシャープ製HEMS連携の第2弾として、後付電動キット「オートマンミニ2」、外付ブラインドタイプ「プリユBモデル」を追加した。

雨戸販売の大半を占める窓シャッターは、北海道を除く全地域で主に防犯・防災目的で採用されている。横引雨戸は特定ハウスメーカー向けに展開する。

窓シャッターの販売傾向をみると、1棟あたりの平均的な採用数は5台～6台と推定。この内、高機能・高付加価値化を担う電動タイプは、販売全体の約27%と拡大傾向にある。「マドマスター・スマートタイプ」の充実を図り、更なる拡大に力を注いでいる。さらに、リフォーム向けが30%弱を占める。「ヨコタテ」「オートマンミニ2」を軸に、リフォー

ム需要の獲得に力を注いでいる。

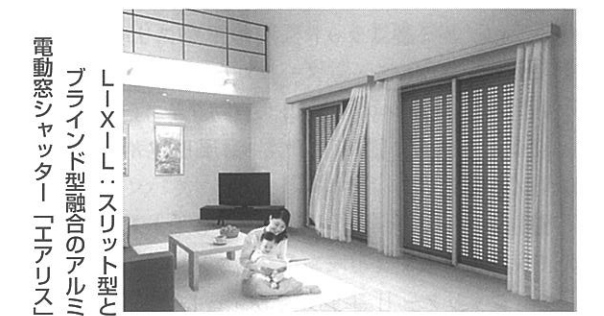
LIXIL

快適な室内空間づくりに最適な新構造「フラップスラット」採用の「エアリスマルチ電動」を拡販

【商品構成】■主な商品群——◇住宅用窓シャッター「エアリスマルチ電動」:独自開発のスリット型とブラインド型を融合した新構造のアルミ製「フラップスラット」を採用した業界初の電動窓シャッター。「フラップスラット」は、羽根を開閉させることで、直射日光を遮りプライバシーの保護、風や光を取り込み快適な室内環境の創出ができる構造。高い省エネ効果も期待できる。ワンタッチで開く「採風ボタン」、1つのリモコン出複数台を操作できる「チャンネルボタン」、自動開閉の「タイマーボタン」などを標準装備する高機能電動窓シャッター。◇耐風アルミ窓シャッター「クワトロ」:手動タイプ・ボックス2タイプ。自動施錠・ソフトストップ機構・マグネット付操作ひも・左右操作可能な解錠レバー等を装備。◇鋼板窓シャッター「イタリヤ」(マルチ電動・リモコン電動・手動の各タイプ。ボックス3タイプ) / 「イタリヤEZ」(操作棒をブラインド感覚で操作できる簡易電動窓シャッター) / 「イタリヤミニ」(小窓専用窓シャッター)。

■リフォーム対応——◇戸建住宅用「リフォームシャッター」:従来の新築用と共通構造をリフォーム専用仕様でフルモデルチェンジ。下地部材の取り付けやネジ隠しカバーの取り付けなどの工程を省き、1窓あたり最短60分のスピード施工を実現する「リクシル PATTO リフォーム」商品。対応商品:「エアリス」「クワトロ」「イタリヤ」の3シリーズに展開。

■新築対応——◇「シャッター付引違い窓」:ハ



電動窓シャッター「エアリス」シリーズ:スリット型とブラインド型融合のアルミ

イブリッド窓「サーモスX」「サーモスL」「サーモスII-H」「シンフォニーウッド/シンフォニーマイルド」、アルミ窓「サーモスII-S」「ディオPG」などの各シリーズに対応する。

【最近の動き】住宅用窓シャッターと横引雨戸の販売比率(窓数比)は8対2と、窓シャッターへの転換が進んでいる。近年の大型台風による強風被害の増加で、災害対策用として窓シャッターの拡大がつづくとの見方。

また、「シャッター付引違い窓」は、販売全体の8割程度。「リフォームシャッター」に代表される後付タイプの更なる拡大にも力を注いでいる。いまのところ窓シャッターのリフォーム向けは、販売全体の10%強にとどまる。

さらに、電動窓シャッターの販売比率は10%強とまだ少ない。電動タイプの拡大を促進するアイテムのひとつとして、LIXIL 独自のIoT ホーム Link「Life Assist (ライフアシスト)」対応商品の窓シャッター「エアリスマルチ電動」「イタリアマルチ電動」を発売する計画。

YKK AP

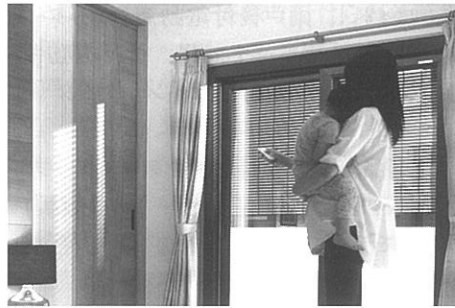
2時間工事の「かんたんマドリモシャッター」にリモコンスリット・リモコン・手動の各タイプ品揃え

【商品構成】■一体枠シャッター—◇リモコン外付ブラインド「X-BLIND」(リフォームにも対応):光や熱の自然エネルギーを開口部でコントロールできる高機能窓シャッター。採風、採光、日射遮蔽などの機能ももち、快適な室内環境を創出する窓シャッターの最上位機種。ルーバー角度を90度に設定した場合、換気量を94.3%確保できるほか、日射熱を85%カットし冷房効果を高める効果がある。

◇「リモコンスリットシャッター」:採風・採光機能をもつアルミ製スラット採用の電動スリットシャッター。◇「リモコンシャッター」:スチール製電動シャッター。◇「手動シャッター」:手動タイプのスチール製窓シャッター。標準タイプ、耐風圧タイプ、防犯タイプを用意。

■リフォーム枠(分割枠)—◇「かんたんマドリモシャッター」:「リモコンスリットシャッター」「リモコンシャッター」「手動シャッター」のバリエーシ

YKK AP...「かんたんマドリモシャッター」2時間工事でリモコンシャッター



ン。既設窓を残したまま2時間で簡単に窓シャッターを取り付けることができる。電動式は、リモコンのほかスマートフォンでの操作も可能。

■引違い窓用雨戸—◇「通風タイプ」/「断熱タイプ」/「スチールタイプ」等。■関連商品—◇「アウターガード」(台風などの強風対策や防犯対策に効果的な開閉式扉)。

【最近の動き】最近の大型台風被害の増加にともなう窓シャッター需要の高まりに対応し、新築・リフォーム用窓シャッターのバリエーションを強化した。新築・リフォームに対応できるリモコン外付けブラインド「X-BLIND」を最上位機種に、新築向けの一体枠とリフォーム向けの後付枠に、「リモコンスリットシャッター」「リモコンシャッター」「手動シャッター」の3タイプを品揃えした。

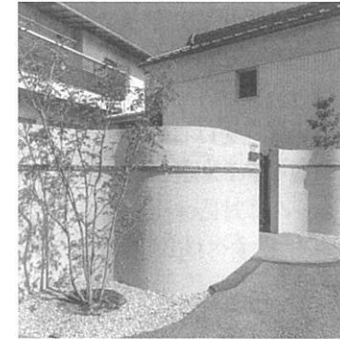
リフォーム向けの「かんたんマドリモシャッター」は、後付けの課題をすべて払拭し、標準、片入隅、ボックス下げ、ボックス下げ片入隅、土間用、雨戸納まりなどの豊富なバリエーションが特長。

窓シャッターと横引雨戸の販売比率は90%対10%と、窓シャッターの採用が増え続けている。採用地域は、首都圏、関西圏、中部圏の大都市を中心にした防犯・防火対策、また九州エリアなどの台風通過地域での災害対策に用いられている。

窓シャッターの販売傾向をみると、シャッター—一体枠タイプ95%、後付分割枠5%。1階リビング、居室を中心に1棟あたり平均2~3セット採用されている。窓シャッター高付加価値化の第一歩となる電動タイプの販売比率は10%強にとどまる。さらに高付加価値タイプのスリット型・ブラインド型の施主指定を受けるべく、認知度を高めるために昨年TVCMを放映するなどのプロモーションを展開した。

四国化成工業

ブロックでもフェンスでもない安全性に配慮した外構商品『アートウォール seed / アートウォール modern』、危険な塀のリフォーム対策向けに提案



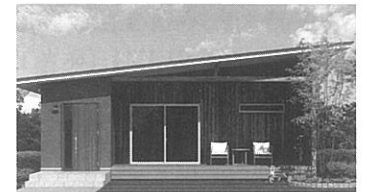
■『アートウォール seed(シード) / アートウォール modern (モダン)』—ブロックでもフェンスでもない安全性に配慮したパネルと支柱を組み合わせた軽量の本体構造(120mm厚仕様でコンクリートブロックの約14分の1)の新感覚の外構商品。

軽量の本体構造のために倒壊時の危険を最小限に抑えられる共に工期短縮も実現。最大高さ2400mmまで控え柱なしでの施工も可能。いま社会的関心を集めている危険な塀のリフォーム対策に有効な性能と意匠性を兼ね備えているオンリーワンの外構商品と高く評価されている。

仕上げ:◇「アートウォールシード」(塗り壁、吹付け・パレットHG標準76色、樹脂シート・デザインシートAW、石材シート・デザインストーンAW、タイルの各種仕上げ)。◇「アートウォールモダン」(アルミパネルカラー2色×デザイン6種類の計12パターン。木質樹脂カラー4色×縦張り・横張りの計8パターン。サイディング8種類)。

三協立山

高断熱+採風機能の高断熱玄関ドア「プロノーバ」/トレンドの6デザイン追加「NEW ファノーバ」



独創的デザインの堂々たるフォルム 2018 年度「グッドデザイン賞」

■カーポート『マイポート7』—従来のカーポートと異なる柱位置の独創的な支柱と、上吊り部材のない薄型フラット屋根で開放感を生み出し、細部にまでこだわったデザイン、高級感ある堂々としたフォルムが高く評価されて、2018年度「グッドデザイン賞」を受賞。

大型集合施設用から戸建住宅用まで圧倒的なバリエーション

■ごみ集積庫『ゴミストッカー』—マンション・アパート、ビル・商業施設から毎日発生する大量のゴミを、カラス荒らしから防ぎ、悪臭の発生を抑え街の美観を維持するゴミ集積庫の定番商品。大型集合施設向け45ℓ袋380個タイプから戸建て用4個タイプまで圧倒的な収納・デザインバリエーション。木質樹脂タイプ・アルミタイプ・スチールタイプを品揃え。

大開口幅に対応するコンパクト収納構造

■大型引戸『スタックライン SA / NA』—大型施設に余裕をもった出入口実現、セキュリティ・バリアフリー対応のコンパクト収納構造。有効開口3.0mから両引3.0m、高さ1.2mから1.8mまで対応。

■玄関ドア—◆高断熱玄関ドア『プロノーバ』(高断熱でありながら採風機能を備えたデザイン設定。カラーは人気の浮造り調木調3色。木質感で華やかな玄関を演出。タッチ式電気錠にハンドル別型と、ハンドル・シリンドラー一体型。電気錠e・エントリー採用)。◆断熱玄関ドア『NEW ファノーバ』(モダン・ベーシックな外観にマッチする3デザイン・トラッドな外観とマッチする3デザインを追加。ロングバーハンドルを用意。電気錠e・エントリー採用)。

ブロック天端の雨だれ汚れ防止・劣化抑制に「ブロック笠木」

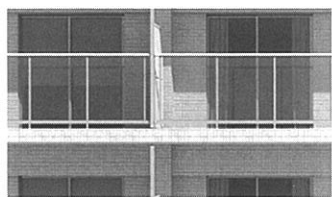
■エクステリア—◆フェンス併用ブロック笠木『フィオーレ』(ブロック天端にアルミ笠木を取り付け、雨だれ汚れ防止・劣化を抑制するプラス提案。アルミフェンスと組み合わせが可能で、新築をはじめ設置済アルミフェンスやブロック塀のリフォームに効果がある)。

従来よりも有効開口を大きくできるノンシール工法改装用サッシ「HOOK SLIM」

■集合住宅向けリフォーム商品——◆ノンシール工法改装用サッシ「HOOK SLIM」(従来工法よりも有効開口を大きくすることが可能な省エネ・ローコストのカバー工法改装用サッシ)。

簡単・スピーディな 施工が可能な改装用 玄関ドア「ラポート」

◆改装用玄関ドア「ラポート」(簡単スピーディ施工のカバー工法。15デザイン・カラー15種類。オプションに、ドア株式会社の通風口として防火対応の換気装置を用意)。



安全・安心の強度のオール アルミ製の BL 認定改修用墜落 防止手すり「改修81型 BL」

◆BL 認定改修用墜落防止手すり「改修81型 BL」(安全・安心の強度を実現するオールアルミ手すり。デザインは格子・ガラス・平板パネルを用意。壁支持・方立支持と、躯体天端の状況や躯体厚さに左右されず施工可能な外方立支持工法を設定。アングル工法により躯体への負担を軽減、工期短縮が可能。高耐久性複合皮膜 HD コートを採用)。

窓本来の価値を追求した TOSTEM ブランドの新しい窓「LW」、フレームインデザインを採用して、リビングに外とつながる心地良さを実現

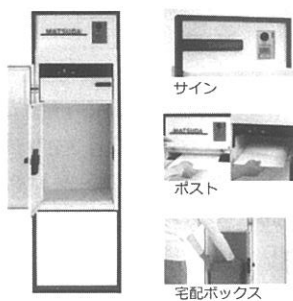
■TOSTEM「LW」——昨年8月の発売以来、当初計画を大きく上まわり採用されている、窓本来の価値を追求した TOSTEM ブランドの新しい窓。上下左右すべてのフレームが室内から見えないうフレームインデザインの採用で、視界を遮ることなく、リビングに外とつながる心地良さを実現できることがセールスポイント。

特長:①室外側の袖壁部を美しく演出し、スライドさせて日差しや視線を調整できる縦格子のアウトセット(オプション)を用意。②開口いっぱい開放できる「フルオープンタイプ」、袖壁の引き込みスペースを半分に抑え、狭小住宅に最適な「ハーフオープンタイプ」をラインアップ。③断熱性能は、アルミ樹脂ハイブリッド構造のトリプルガラス・クリプトンガス封入・樹脂スペーサー仕様で熱貫流率1.00W/(m²・K)を実現。単板ガラス・Low-E 複層ガラス・和風格子入り複層ガラス・ブラインドイン複層ガラスなどの豊富なバリエーションを用意する。

カンタン窓リフォーム商品 「リプラス」にリフォーム対応 「引違い窓」「縦すべり出し 窓」「横すべり出し窓」

■カンタン窓リフォーム商品新「リプラス」——壁を壊さず最短60分の簡単施工で断熱窓に交換し、既設窓の暑さ寒さ、結露、隙間風、重い開閉操作などの困

りごとを解決する窓リフォーム商品。窓種バリエーションは、ランマ付サッシ、外付サッシを含む「引違い窓」をはじめ、ガラスルーバー窓やFIX窓など装飾窓のリフォームに対応する「縦すべり出し窓」「横すべり出し窓」をラインアップ。



「複数の荷物受取り」、 「集荷依頼」が可能な 業界初の IoT 宅配ポスト

■「スマート宅配ポスト」——スマートフォンと宅配ポストが双方向につながることで、荷受の通知や、カメラ機能による荷物の見守り・宅配業者との会話・解錠する「複数の荷物受取り」、さらに不在時にも荷物を発送できる「集荷依頼」などにも対応する業界初のIoT宅配ポスト。宅配ボックス・ポスト・サイン・インターホンと一体としたシンプル&スマートさを追求した設計デザイン。本体3色×フレーム6色の計18通りのカラーバリエーション。宅配ボックスの容量:2リットルのペットボトル6本入り2ケース(重さ30kg)。

風速 57m 相当の強風に耐え、飛来物によるガラス破損を防ぐことができる窓シャッターリフォーム商品「かんたんマドリモシャッター」

■窓シャッターリフォーム商品『かんたんマドリモシャッター』——既設の窓はそのままに、壁の上から2時間の工事で窓シャッターを取り付けることができる簡単リフォーム商品。

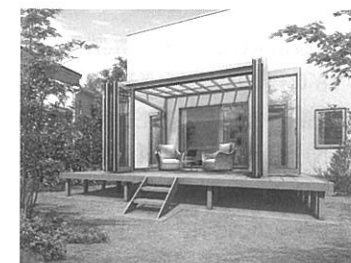
窓シャッターは、防災・防犯・防音・遮光・断熱などの諸機能を持ち、住まいに安全・安心、快適さを提供する。とくに、窓の外側に取り付けることで風速57m相当の強風に耐え、飛来物によるガラス破損を防ぐことができることから、近年の大型台風対策に有効な商品として評価が高まっている。

「かんたんマドリモシャッター」は、軒下から窓までの寸法や、壁の出っ張り(入隅)、横引雨戸が取り付けられる状態などの窓シャッター後付けの課題を全てクリアした商品。

スマートフォンでの操作も可能な電動式のリモコンスリットシャッター、リモコンシャッター、さらに手動式シャッターを用意。従来品の標準・土間用に片入隅、ボックス下げ・ボックス下げ片入隅、雨戸付窓用などの納まりに対応する。

■窓リフォーム商品——◆「かんたんマドリモ」:①既設アルミ製窓枠(外付)に新たに樹脂窓を取り付けるカバー工法。②壁工事不要でアルミ樹脂複合窓に交換。③内窓プラマードUの追加。■ドアリフォーム商品——◆「かん

たんドアリモ」:「かんたんドアリモ室内折戸」(既設枠の上からアタッチメントを取り付けるだけで1時間~半日の簡単施工) / 「かんたんドアリモ」アウトセット玄関引戸(壁工事不要で既設の玄関ドアを引き戸にリフォーム) / 「かんたんドアリモ」勝手口ドア(間口の狭い勝手口のリフォーム)。



洗濯物干し場やアウトドアリビング 空間向けの屋根・囲い商品

■テラス・バルコニー向け屋根・囲い商品『ソラリア』——従来のテラス・バルコニー屋根「ヴェクター」と、テラス・バルコニー囲い「サンフィールⅢ」を統合し、性能・施工性・機能性・デザイン性を向上させたアウトドアリビング空間向け商品。

「ソラリア」屋根:テラス屋根・躯体式バルコニー屋根・ルシアスバルコニー対応屋根・持ち出し屋根・テラス屋根リウッドデッキ納まり等。

「ソラリア」囲い:テラス囲いスタンダードタイプ・テラス囲い木調ガーデンルームタイプ・バルコニー囲い躯体式・バルコニー囲い屋根置き式/柱建式。

窓・ドアのセンサーとスマホをつなぎ、カギの締め忘れを通知する

■戸締り安心システム『ミモット』——窓・ドアのセンサーとスマートフォンをつなぎ、玄関を出て外出した直後にカギの締め忘れを通知する窓・ドアのIoT商品。

システム構成:引違い窓用クレセントセンサー、勝手口ドア用サムターンセンサー、玄関ドアスマートコントロールキー(ミモット専用インターフェースユニット設置)、受信機(Wi-Fi機能付きブロードバンドルーターと接続)、さらに「ミモット」専用スマートフォンアプリ。

窓のカギに内蔵されたセンサーはカギの施錠により発電・通信を行なう技術を活用(電源・配線不要。特許出願中)。このセンサーと玄関ドア電気錠を組み合わせることで、玄関ドアの施錠を行なった際に、カギを締め忘れた窓をスマートフォンに通知する機能(利用契約必要)。GPS機能の活用、帰宅通知の見守り機能の利用も可能。

低層集合住宅の窓の 高断熱化を推進する

■低層集合住宅向けアルミ樹脂複合窓『エピソード NEO-LB』——低層集合住宅の窓の高断熱化を推進する主力商品。熱貫流率2.33W/(m²・K)以下。集合住宅窓改修対応「GRAF工法枠」設定。

三協立山

2017 年度キッズデザイン賞・グッドデザイン賞受賞のビル用基幹サッシ「MTG-70 R」

■ビル用基幹サッシ『MTG-70 R』：2017 年度キッズデザイン賞・グッドデザイン賞を W 受賞。スライド系窓に独自の「セーフティハング」（障子脱落防止安全機構）や「樹脂製コーナー部品」を標準装備。すべり出し窓などに「小開口制限アーム」をオプション設定。新機構を搭載した採風ドアやお掃除モード付すべり出し窓、さらに、個別認定品「防火型」をラインアップ。

■『高性能省エネサッシシステム ARM S』：内動片引き窓に「H3000」大開口対応タイプ。最大 H3000 の「引分け窓」追加。

■太陽光商品『太陽電池一体型目隠しルーバー』：目隠しルーバーに太陽光発電機能を付加。たて型・横型タイプを用意。

近隣への騒音を軽減

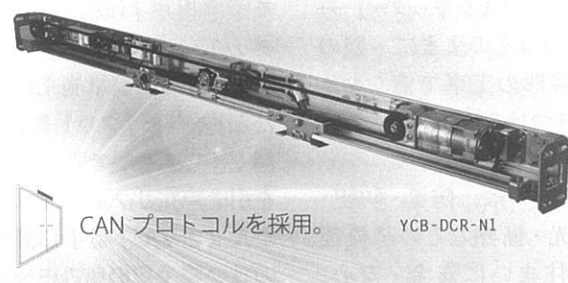
・外装防音ルーバー「トーンスクリーン」

■外装防音ルーバー『トーンスクリーン』：空調設備などによる近隣住宅・ビルへの騒音を軽減。騒音のピーク音を抑える断面形状とルーバー内部に組み込まれた吸音材によって外部への騒音の流失を低減する。外から枠が見えない堅枠なしの構造。内部が見えにくい上向きタイプも用意。

寺岡オートドア

自動ドアの未来を拓く CAN 通信方式採用の新型自動ドア「YCB-DCR-N 1」シリーズ拡販

自動ドアの未来を拓く



■通信機能内蔵の新型自動ドア『YCB-DCR-N 1』シリーズ——高い耐ノイズ性能のある CAN 通信方式の採用により、各機器同士が互いに監視し合い、安全な動作でトラブルを未然に防ぐ機能を備えた、安全規格「JIS A 4722」（歩行者用自動ドアセット—安全性）に対応し、自動ドアの未来を拓く新型自動ドア。

CAN プロトコルを採用した自動ドアの構成機器は、①省スペース化を実現した自動ドアコントローラ「YCB-DCR-N 1」、②専用端末から細かなモード設定を操作できる CAN ネットワーク対応「センサー」、③ CAN ネットワーク対応の「電気錠サブコントローラ」「結線入力サブコントローラ」「入出力サブコントローラ」などで構成する。

さらに、各機器の接続には施工性に優れた「CAN 接続ハーネス」が使われている。これらの相互通信機能を備えた構成機器が、それぞれの機器の動作を確認し、不具合が検出された場合、

自動ドアの開閉動作を、ただちに止める機能を備えた安全・安心の最新自動ドア。これからの自動ドアのスタンダードタイプとして提案・普及活動を展開している。

多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」（4ヶ国音声版）、多言語音声案内システム搭載し訪日客に対応

■多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」（4ヶ国音声版）／多言語音声案内システム「VNIN」（台板内蔵型）・「VNIS」（壁面外付け BOX 型）——一人に優しいデザイン性と使いやすく分かりやすい機能性を融合した新たな多機能トイレ用パネルスイッチ。

東京オリンピック・パラリンピックを控え、近年増えつつある訪日客に対応できるように、日本語・英語・中国語・韓国語の多言語音声ガイダンス機能を搭載。空港やターミナル駅、ホテル・宿泊施設を中心に施工実績を積み上げている。

LIXIL

店舗ファサードから中層ビルまでシャープに統一された意匠を実現

■中低層用カーテンウォール／フロントサッシ『MLシリーズ』——中低層建築物のファサードで統一されたスリムなデザインと安心性能を両立。同時に省施工・低価格を実現。Mタイプ中層用 CW仕様・Lタイプ低層用 CW仕様・Lタイプフロントサッシ仕様。全タイプで外観見付を統一された意匠を実現。

ZEB 普及を推進するビル用ハイブリッド窓

■ビル用高断熱ハイブリッド窓『プレセア』——フレーム高性能化・ガラス面積最大化・ガラス高性能化（中空層 16 mm 以上・アルゴンガス入り Low-E 複層ガラス）により、断熱性 H-6（熱貫流率 1.90 W/m²・K）を実現。マンションやオフィスビルの ZEB 普及を推進するビル用高断熱ハイブリッド窓。

アルミ+国産檜のハイブリッド構造ビル・マンション用サッシ

■『E-SHAPE WINDOW + WOOD』——アルミ+国産檜のハイブリッド構造のビル・マンション用サッシ F I X 部から可動部まで 55 mm のスリムな見付で統一、シンプルなオール F I X 窓のようなデザインを実現。

ナブテスコ(株)住環境カンパニー

ムダ開きを減らし、快適な室内環境をお届けする自動ドア「NATRUS+ e（ナトラスプラスイー）」を拡販



■ナブコ自動ドア「NATRUS+ e（動線検知ソリューション）」——「NATRUS」の 3 つの特長（安全性の追求・利用環境に合わせた多彩な設定機能・ロングライフ設計で低ランニングコストを実現）に加えて、室内環境の改善・バリアフリー・省エネルギーを同時に実現する最新鋭の自動ドアシステム。

一般的な自動ドアでは、人がドアの近くを横切るだけで開閉したり、ドアの近くに人が立っていると、開いたままになってしまうことがある。一方、「NATRUS+ e」は、人の動きを読み取り、自動ドアを通る人には開き、通らない人には開かないようにドアの開閉を制御できる機能を付加した高機能な自動ドアである。

【特長】①室内環境改善：ドアに向かう時だけ開くのでムダ開きを減らします。②バリアフリー：タッチ操作が不要で「バリアフリー」を実現します。③省エネルギー：人がドア付近に立っていても自動ドアが開いたままにならないため、不要開放時間を減らします。

また工事に関しても、既設自

動ドアが「NATRUS」であれば、「VD-A10 ベクトルコントローラ」を追加するだけで、「NATRUS+ e」に大掛かりな工事を必要とせず、簡単にグレードアップできる。センサーは無目付け・無目内蔵・無目下付け・天井付けと様々な設置バリエーションに対応できる。

他社製品と一線を画する洗練されたデザイン・カラー、コンパクトボディ

■セキュリティゲート「スピードレーン・ライフライン・シリーズ」（東京オリンピック・パラリンピックや再開発ビル案件などで高まるセキュリティ対策への需要獲得に向け、「トータルエントランスソリューション提案」を実施——最新のデザイントレンドにマッチした設計による、人間工学に基づいた洗練されたデザイン、スペース効率を極めたコンパクトなボディがセールスポイント。また、アプローチセンサーが通行者の接近を検知し、イルミネーションで誘導する分かりやすい表示やスリープ機能による省エネルギー対応も特長。

ナブコシステム

業界最高峰の安全性を備え、国際水準の安全規格「JIS A 4722」に対応した自動ドア「NATRUS」拡販

■未来標準の自動ドア「NATRUS（ナトラス）」——業界最高峰の安全性を備え、国際水準の安全規格「JIS A 4722」に対応した自動ドア。ナブコ自動ドアの先進技術にもとづく駆動装置と、業界随一の施工・メンテナンスの高品質なアフターサービス体制を融合し、通行者の安全・安心を実現するオンリー・ワン製品。一昨年10月の発売以来、JIS基準をクリアしている「NATRUS」を、業界標準のオーソドックスな自動ドアとして認知度を高めるために拡販に注力している。

進化した自動ドア「NATRUS+ e」

■「NATRUS+ e（ナトラスプラスイー）」——未来標準の自動ドア「NATRUS」に、「VD-A10ベクトルコントローラ」を追加することにより、自動ドアを通る人、通らない人をドア自身が判断し、無駄な開きを減らし、室内環境の改善、タッチ操作不要のバリアフリー化、さらに不要開放時間を減らして省エネルギー効果を高めることなどを実現。

一つの「VD-A10ベクトルコントローラ」を追加するだけで、内部側センサー、外部側センサーの動線検知制御ができるため、既設の自動ドアが「NATRUS」であれば、新たなセンサーへの取替えなど大掛かりな工事を必要とせず、簡単に且つ低コストで「NATRUS+ e」に進化でき大幅

なコストダウンを実現。コストを抑えつつ進化出来る大きなセールスポイント。



衛生面・安全性・気密性に優れた世界最速両引分開閉方式のシートドア「ノボスプリントグラウンド・クロージャー」拡販

■超高速シートドア「ノボスプリントグラウンド・クロージャー」（ドイツ・ブッツバッハ社製）——世界最速のドア開速度5.0m/秒を達成した国内唯一の両引分開閉方式の屋内専用高速シートドア。

両引分開閉方式の弱点とされたシートと床の間にあった約10mmの隙間をふさぐ、「グラウンド・クロージャー」機能を追加したことにより、虫や埃などの侵入を防ぎ、気密性が一段と高められた。「グラウンド・クロージャー」機能の追加に伴ない、ドア開閉の際に床面の水分・埃・塵を巻き上げて、通行中に上部から落下する不安もなく、衛生面・安全性・気密性に優れた両引分開閉方式の高速シートドアのセールスポイントを活かし、水産加工・漁業関連や食品関連、精密機器関連施設を中心に需要獲得に力を注いでいる。

YKK AP

客室のコールドRAFTを抑制し快適空間を提供するホテル専用の高断熱樹脂窓

■ホテル専用高断熱樹脂窓「HOTEL MADO（ホテルマド）」——マルチチャンバー構造の樹脂フレームとLow-E複層ガラスを組み合わせて、従来のアルミ複層ガラス仕様よりも約3倍の断熱性能・熱貫流率1.70を実現したホテル専用の高断熱樹脂窓。

窓辺の冷やされた空気がベッドや足元に広がるコールドRAFTを抑制し、暖かいくつろぎの空間を提供できることがセールスポイント。そのほかにも冷暖房費用の削減、結露の抑制、眺望性の確保、清掃性の向上などが期待できる。「内開き窓」と「内倒し・内開き窓」を設定。

雨水侵入や強風・突風の抑止機能を備えた横型自然換気装置

■カーテンウォール用横型自然換気装置「EXIMA 91c アンダーパス」——雨水侵入や強風・突風の抑止機能を備えた横型自然換気装置。自然通気換気による外気の活用し、空調負荷軽減による省エネと快適性を両立。換気機能に特化した「V仕様」、換気中の開放状態でも雨水侵入と突風・強風を抑制する「WRV仕様」、換気+雨水抑制「RV仕様」、換気+突風・強風抑制「WV仕様」など4種類の設定。

YKK AP

断熱玄関ドアの新商品「ヴェナートD30」シリーズを開発、U値1.94、全62デザイン・20カラーを展開 通風デザイン業界最多12デザイン



YKK AP（堀秀充社長）は、住宅用玄関ドアの主力商品「ヴェナートシリーズ」を10年ぶりにフルモデルチェンジし、新商品「ヴェナートD30」として4月8日新発売する。

新玄関ドア「ヴェナートD30」シリーズは、高断熱玄関ドアのスタンダードグレードとして開発されたもので、「ヴェナートVED」、スマートドア「ヴェナート」（電気錠）、「防火ドアGシリーズ」を統合した新シリーズ。

この統合により住宅用高断熱玄関ドアは、「Inno Best D70」（U値0.90。APW430とセット提案・2デザイン）と、「Inno Best D50」（U値1.56。APW330とセット提案・30デザイン）を含めた3シリーズに再編される。

玄関ドア「ヴェナートD30」シリーズは、「ヴェナートD30」と「ヴェナートD30防火ドア」で構成。新シリーズの特長は、①ドア構造の細部を見直し、従来品のU値2.21からU値1.94に約12%の性能向上を実現。D2仕様・D4仕様を用意。

②デザイン面は、木の表情を生かした「ナチュラル」18デザイン、モダン住宅向けの「シンプル」13デザイン、オーソドックスな「シック」14デザイン、洋風スタイルの「エレガント」13デザインの全62デザイン・20カラーをラインアップ（防火ドア仕様45デザイン・20カラー）。その中でも、素材やディティールにこだわった上級グレードカテゴリー「エクストラデザイン」を新たに設定した。

③機能面では、最近要望のおおい通風デザイン（内開き通風機構、標準仕様+7万円）を、非防火・防火仕様共に業界最多の12デザインを設定した。

④さらに、ドアまわりを彩るオプションパーツとして、「D30」用デザイン「オリジナルリースフック」（2色）と「オリジナルリース」全8種を用意。⑤その他にも、バックチェック機構付きドアクロザーの標準設定、子ども指挟みリスクを軽減する13mmの隙間を設けたアルミ製丁番（特許出願中）を採用している。

参考価格帯：エクストラデザイン60万～65万円、通風グレード33万～47万円、標準仕様27万円～31万円。標準仕様（非通風）、F03デザイン・片開き・D4仕様、スマートコントロールキー（ピタットKey）の場合、31万8000円。

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会

魅力的なリフォーム商材、働き手の高齢化・減少に対応する省施工商材の充実を推奨、効果を理解できるツールを提供——山下理事長

日本サッシ協会・カーテンウォール・防火開口部協会は1月18日、東京・明治記念会館で「平成31年新年賀詞交歓会」を開催した。



山下理事長

冒頭、山下清胤理事長・会長は、「今年の市場はオリンピック・パラリンピックを見据えた首都圏での様ざまな開発見込めですが、消費税増税による景気縮小、米中の貿易摩擦の影響など不安要素もありますが、省庁の方々に検討いただいている次世代住宅ポイントなどの国の施策に期待したいと思っています。また、昨年11月には2025年の大阪万博の開催が決まりました。経済効果2兆円ともいわれている大阪を中心とした関西経済の活性化に期待しています。

「ただ、長期的に見ますと2030年には新設着工戸数が60万户を切るとの予測が出ております。その意味では高付加価値商品の拡充、リフォーム市場の掘りおこしが必要と考えております。

「当協会による平成29年度の戸建新築住宅の調査では、省エネサッシといわれる樹脂、アルミ樹脂複合、アルミ複層ガラスの普及率が全国で93%を超えてきている。あるいは樹脂、アルミ樹脂複合は6割を超えてきています。今後もZEHの普及促進事業の後押しでさらに普及が進むものと考えております。

「ただ、これは新築に限ったことではございません、ストック住宅の開口部リフォームにも当てはまることと考えております。ストック住宅約5000万戸において、平成11年基準、次世代省エネ基準を満たす住宅は5%しかありません。現行の断熱性能まで引き上げるには相当の断熱改修が必要です。そういった意味では断熱改修市場の開拓が大変重要になります。

「当協会ではより魅力的なリフォーム商材、働き手の高齢化・減少に対応する省施工商材の充実を推奨し、またこれらの効果を市場に広くご理解していただけるようなツールの提供を会員の皆さまとともに進めていきたいと考えております」と挨拶した。

引き続き、国土交通省の石田優住宅局長、経済産業省の製造産業局長官房の大内聡審議官が祝辞を述べ、日本サッシ協会の大坪一彦副理事長の乾杯の挨拶の後、交歓会に移った。

全国自動ドア協会

JIS規格対応の自動ドアを日本社会に送り込んで、安全で快適な社会をつくっていく——上仲会長



上仲会長

全国自動ドア協会は1月15日、東京・アジュール竹芝で「2019年(平成31年)新春賀詞交歓会」を開催した。

上仲宏二会長は、「昨年日本列島は自然災害に見舞われました。思い起こせば6月に北大阪地震、西日本の豪雨、8月9日には大型台風が2個上陸、9月に北海道東部地震がありました。その影響で日本経済も7月から9月マイナス成長になりました。その後企業が効率化のための設備投資が旺盛になりプラスに転じました。その勢いで日本経済も底固く拡大すると期待しております。

「しかしながら世界経済を見ますと、トランプ大統領が仕掛けました米中の貿易戦争、3月に予定されている英国のEU離脱、ロシア、北朝鮮、韓国の動静も気になるところでして、不透明な状態がまだまだ続くのかなと懸念されます。また、年末より株と為替が乱高下しておりまして、気になるところで

あります。

「我々自動ドア業界を取り巻く環境は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、競技用の建設、インフラ整備、観光関連の投資、ビルの建て替えと明るい話題はございますけれど、建築業界これからどうなっていくかの動向と、10月の消費税増税の影響どう関わってくるか注意していきたいと思っています。

「自動ドア協会の安全に対する取り組みについては、2017年制定されたJIS A 4722 歩行者用自動ドアセットの安全性、それを受けて運用マニュアルとして、安全編と設計編、JIS準拠の安全ガイドラインを各委員会で作成し、関連業界、行政、お客様にご説明を行なっていただきました。

「本年は、公共建築工事と改修工事、木造工事の標準仕様書が改定される予定です。これにはJISの内容が組み込まれます。これに同期して、我々協会の基準であります品質、施工、保守の3基準と、自動ドアの知識などの改定を行います。これらの改定に技術委員会を中心に多くの作業時間を割いていただいたことを感謝申し上げます。

「こういった規格が整備されることで、ますます世の中の注目が集まりますJISへの理解を深く進めて、規格対応の自動ドアをぜひ日本の社会に送り込んで、安全で快適な社会を作って頂きたいと思っています」と挨拶した。



山村副会長

山村望副会長が、「JADA発足は1974年、始まった当初は販売会社を中心になって自動ドア業界の地位向上をめざして始まったと聞いています。その目的が達成できているかどうか改めて見直さなければいけないと感じています。今年はJIS

が明確に自動ドアの中に入ってまいります。この時点で我々会員全ての会社が同じ向きを向き、全力を上げてJISの市場を作り上げていく目的はただひとつ通行者の安全のために、これを実現する最初で最後のいいきっかけにする年であると考えています。各社の企業理念の中に通行者の安全、安心という言葉が含まれていると思います。ぜひこれを文章だけ、お題目だけでなく、行動に移す年にして

いただきたいと思います。設計事務所、ゼネコン、お客様の方からJISという言葉が出るようになってまいりました。2年経ってだいぶ浸透してきている。もう一息、JIS安全基準をクリアしているものがオーソドックスなものだと、こういう舞台にさせていただきたいとお願い申し上げます」と乾杯のあいさつを行ない交歓会に移った。最後に古野重幸副会長の締めの乾杯の後、散会した。

寺岡オートドア

岡山営業所を開設 12月業務開始

寺岡オートドア(吉田毅社長)は、昨年11月同社岡山営業所を開設し、昨年12月3日業務を開始した。南安広営業所長、所在地:岡山市北区野田2-2-13。電話086-236-9275/FAX086-236-9280。

日本サッシ協会

「製品安全対策優良企業表彰PSアワード2018」で特別賞を受賞

日本サッシ協会は、「平成30年製品安全対策優良企業表彰PSアワード2018」で特別賞を受賞した。受賞の理由は、①協会会員企業への製品安全性向上を支援する取り組み(建材製品に適用すること目的としたリスクアセスメント導入ガイドラインの作成)、②消費者への注意喚起による事故の再発・拡大防止の取り組み(消費者向けに2010年からサッシ・ドアを安全にお使いいただくためにというコンテンツを作成し、注意喚起情報に提供を開始している)、③取り扱い事業者等への注意喚起による事故の未然防止活動(サッシ・ドア等の設計・組立・施工を適切に行なうための未然防止活動として、協会報やパンフレットの発行、取り扱い業者向けのコンテンツを作成し、Webページ等で注意喚起を行なっている)。

LIXIL

「PRIDE指標2018」、2年連続で最高評価の「ゴールド」を受賞

LIXILは、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体work with Pride(以下:w w P)が2016年に

策定したLGBTなどに関する取り組みの評価指標である「PRIDE指標」において、2017年につづき最高評価「ゴールド」を受賞した。

社会的責任投資指標「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に選定

LIXILは、世界的な社会的責任投資指標であるDow Jones Sustainability Indices(以下DJSI。今年度は世界の主要上場企業2000社超を対象に150社を選定)のアジア・太平洋地域版「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に2年連続で選定された。また、世界の建設関連製品部門において4位の評価を獲得した。

YKKAP

「北海道の家」でZEHを上まわるLCCM住宅相当実現、トリプル樹脂窓「APW430」へ取り替え



YKKAPは、(株)アルデザイン建築工房(新谷孝秀社長)と共働し、性能向上リノベーション実証プロジェクト物件「北海道の家」を昨年竣工した。

「北海道の家」は、築38年の木造戸建住宅で、「断熱」「耐震」について、現在の北海道の一般的な新築住宅の性能を上まわるレベルに改修した。「断熱」レベルは、ZEHを上まわりライフサイクルトータルのCO₂収支をマイナスとするLCCM住宅相当を実現した国の低炭素化に向けた先導的な環境配慮型リノベーション事例。

今回の物件では、高性能トリプルガラス樹脂窓「APW430」、高断熱玄関ドア「イノベストD70」へ入れ替えて、UA値を改修前の0.82W/m²・Kから改修後0.18W/m²・Kと約4.5倍向上させ、年間暖房費も7割近く削減可能にした。また、耐震性も「FRAME II」の採用で耐震等級3相当の強度に高めている。